

「三重県・奈良県合同見学会」

～はならあと2014 郡山城下町～

近年、継続事業として企画させて頂いている「三重県・奈良県建築士会合同見学会」が、2014年11月9日(日)に行われました。今年は我々が三重県さんをご招待させて頂いた番です。

近鉄郡山駅に集合致しますと、あいにくの曇天にも関わらず、互いに久しぶりの再会に早速の笑顔、会話が弾み、幸先の良いスタートとなりました。

まずは郡山城跡に向う道中の、古い町並み散策の途中、「菊屋」さんという創業400余年、太閤豊臣秀吉公ゆかりの和菓子屋さんに立ち寄り、皆さん早々に土産をばら下げての移動となりました。



『菊屋』

郡山城跡内の、現在石積の石垣の見学では、「さかさ地蔵」「羅城門の礎石」「柳沢文庫」などの、ボランティアガイドさんの解説に、皆さん「へー！」。我々奈良県のメンバーも、お恥ずかしいことに同じく「へー！」の連発でした。



『柳沢文庫』

途中、菊まつりの開催会場にて記念集合写真をパシャリ。一応スタート時点では2班に分かれての行動予定でしたが、このころには和気あいあいの雰囲気もすでに高まり、ほぼ混合の移動となっております。

そして、今回の目玉企画の一つ、大和郡山といえば“金魚”！ということで、「こちくや」さんにて、金魚すくい大会が開催されました。

決して広いスペースとはいえない水槽を皆さんで囲み、本格的な選手権方式で勝ち抜き戦！

予選では笑い声が絶えなかったのに対して、決勝戦ではなかなかの本気モード。

見事、優勝者並びに準優勝者は三重県の方に！会場のこちくやさんから素敵な景品を頂きました。



今回、奈良県で開催されている「はならあと2014」のイベント会場のひとつが郡山城周辺であるため、イベント開催スタッフの方にご協力を頂き、日ごろは入館できない建築物「川本邸」の内部見学をさせて頂きました。

大正13年に建てられた木造3階建てで、現在の住宅よりも立上が高いのか、すごく迫力のあるたたずまいに思えました。

時代背景はもとより面格子の間隔や、部材の木柄など、三重県の方たちと意見交換ができ、お隣の県とはいえど、風土に合わせた違いがいろいろあるものだと、改めて感じる事が出来ました。



『川本邸』

見学会も終盤を迎え、散策した界隈にあるお店で懇親会が始まりました。

言うまでもなく、大変な盛り上がりで閉宴時間をオーバーしている事にも気づかず（気づかぬふり）談話は続きました。

今日新しく出会った人、久しぶりに再会した人、名残惜しい気持ちを抱きつつ、次回の再会を固く約束し、三重県への帰路につかれました。

来年度は、我々が三重県さんに訪問予定。早くも待ち遠しく思います。

(記・青年委員会 宇陀支部 桑原大輔)